

2023年6月22日～25日 大会の様子（西那須野カントリー倶楽部）

JAPAN PLAYERS CHAMPIONSHIP by サトウ食品



河本 力選手 スタート入場



蟬川 泰果選手



阿久津 未来也選手



堀川 未来夢選手



細野 勇策選手



小斉平 優和選手



選手間際までのローピング（石川遼選手）



いっばんチャレンジ！（小林プロ、片岡プロ、平本プロ）



塩見 好輝選手 全員で盛り上げます！



時松 隆光選手



中島 啓太選手 今大会ホールインワン達成



松本 将汰選手



石川 遼選手 大会ローピングプロデュース



ギャラリーの皆様と交流 蟬川プロ、阿久津プロ



千本松牧場広場で、LIVE中継。



JPC大会で初となる「プレーオフ」



優勝決定の瞬間（谷原プロ、長野プロ）



2023年JPC大会優勝 谷原 秀人選手



大会実行委員長 宮里優作プロ

今年も、選手とギャラリーの皆様とのイベント盛りだくさんの、楽しさあふれる大会となりました。

- ・石川遼選手がご自身で設営。ギャラリーの皆様がより近くで楽しんでいただけるローピング。
- ・昨年に続き、選手と交流できるグータッチゾーン。
- ・サトウ食品ブースで、ギャラリーの皆様にお餅お振舞いもさらにパワーアップ！
- ・大会3日目、上位選手と高校生ニアピン対決「いっぽんチャレンジ」
参加校：佐野日本大学高等学校、作新学院高等学校、宇都宮文星女子高等学校の皆さん。
- ・千本松牧場でソフトクリームやジンギスカンを召し上がりながら、パブリックビューで大会生中継を観戦。

<1日目>

強い雨の中、第一回大会優勝の片岡尚之プロが-8（64）の好スコアで好発進。

同じく-8（64）に、350Ydドライブの河本力選手と、今大会との相性が良い杉本エリックプロが並びます。

<2日目>

コースレコード-12（60）をマークした長野泰雅プロが大会の主役に躍り出てきました。

また、14番ショートホールで中島啓太プロが人生初のホールインワンを達成。順位も3位と好位置に。

<3日目>

長野泰雅プロが4番から6連続バーディと抜け出すも、着実にバーディを重ねた中島啓太プロと20アンダーの好スコアで首位最終日に。これで中島啓太プロは5週連続の最終日最終組となりました。

また、明るい性格で人気のH・リー選手が、6番、7番ホール連続イーグル。8番、9番バーディで4ホールで6アンダー。-8（64）でホールアウトし2打差3位タイで最終日に。

<最終日>

2番から3連続バーディの谷原秀人プロが首位の長野泰雅プロと並び混戦に。

大槻智春プロも前半9ホール、8番ホールでのホールインワンを含む4アンダーと猛追。

最後は13番ホールから谷原秀人プロと長野泰雅プロの競り合いとなり、そのまま両者-24でホールアウト。

JPC大会初となる、プレーオフ決着へ。

1ホール目、確実にFWを捉えた谷原秀人プロ。林へ打ち込みながらも3打目で望みをつなぐショットで粘る長野泰雅プロ。大勢の観客が見守る中、長野泰雅プロのパーパットが外れ決着。

今年も、思い出に残るツアープロのハイクラスな戦いと、ファンへの思いやりに溢れた大会となりました。